

ほんごう通信

第38号 (08年12月)
発行:本郷たかし後援会
女川町黄金町13番地の2
TEL/FAX 53-3509
<http://blog.goo.ne.jp/hongo-takashi/>
E-mail t.hongo@abeam.ocn.ne.jp

『金華山航路・再構築にかかる助成』について

本郷 隆

については、『ほんごう通信』第36号『金華山航路・請願審査特別委員会の委員長として』をご覧ください。

請願当初、(株)潮プランニングは既存の運行船レスポールを取得して航路再開を目指そうと考えていたようですが、種々の事情からそれがかなわず、あらためて今回、65人乗りのサザンクロス3号(沖縄県石垣市)と62人乗りのアルティア1号(長崎県五島町)の19ト

今回もいきなり本題から

対・賛成討論を行い、採決しました。結果として、総勢15人の議員のうち、退席

：10月23日(金)満席の傍聴人中、第9回臨時会において議決された『金華山航路を再構築するため、(株)潮プランニングに対して航路船舶の取得費用8500万円を補助する補正予算』について報告いたします。

2 賛成10 反対3 の賛成多数でこの予算案は可決されました。

振り返れば3月定例会前に、観光協会はじめ観光に携わる町内10団体より、『女川く金華山航路の再構築実現に関する請願書』が町と議会に提出され、定例会において『請願審査特別委員会』が設置されました。

【ただ今上程されました議案第92号について賛成の討論を行います。

この度の変更で8277万円となり、それを受けて町執行部は今臨時会において上限8500万円の補助予

論をを行います。

は、船舶取得費用は概算の概算で6000万円くらいと見積っていたのですが、

3月定例会において設置された『請願審査特別委員会』の中で重要な問題として2点、『緊急性』と『公益性』

が取り上げられました。『緊急性』については、当初即座に認定したものの、種々の事情から予定していた船舶の取得がかなわず、現在展開中のドスティナーシオン・キャンペーンや離島航路しまなぎの船検に係る代船に間に合わなかったことは残念に思います。

一方、『公益性』については、本町の観光事業にとって金華山航路は必要との観点から公益性は十分にある、と全議員が共通の認識を持ち、かかる請願を採択したのではなかったでしょうか。

観光行政は本来町が担うべき事業であります。仮に今回の請願が無ければ、私たち議会と執行部が『金華山航路再構築』について議論を尽くし、航路を再構築するかしないかの結論を出さねばなりません。

もしも再構築しないと決した場合、観光面そして経済面において、本町全体が今以上に衰退することは明らかです。また再構築する

と決した場合には、どのような形態になるにしろ、町として金銭上の関与が必要となります。船舶取得という初期投資はもちろんのこと、その後の運営面においても毎年相当の繰り出しをしなければならぬとも限りません。並大抵の手法で採算が取れるほど簡単な運営ではないからです。

このような中であって、純粹に女川町の将来を憂う民間の有志の皆さんが立ち上げてくれました。

その方々は業界の第一線にたち業界を牽引している皆さんであり、それぞれの経営ノウハウや英知を結集してこの航路事業の運営を健全に進めていくと宣言していますし、私自身も心からそうなってくれることを願ってやみません。

いずれにしても本来町が担うべき役割りを、町民有志の皆さんが担ってくれることに感謝の意を表しながら、この補助金を助成するべきと考えます。